



コミュニティ政策学会

**コミュニティ政策学会**

Japan Association for Community policy

**Newsletter No.49** (2023.3.7)**第22回学会大会（世田谷）開催のお知らせ****第22回学会大会（世田谷）開催のご案内  
「世田谷から考えるコミュニティ政策の可能性  
～自律分散する住民まちづくり～」****開催趣旨**

住民まちづくりの先進地域の一つともいわれる世田谷区。都市デザイン室による参加型まちづくり、まちづくりファンドやプレーパークなど住民主体の活動の数々は、全国の住民まちづくりに大きな影響を与えた。しかし、2000年代以降は活動や体制の硬直化などから「周回遅れのトップランナー」と言われることもあった。こうしたなか、保坂区政の「観客からプレイヤーへ」の標語のもと進められた空き家活用事業、グリーンインフラの整備、下北沢駅前再開発、また2010年代の新しい住民プレイヤーの勃興など、全国的にも注目し得る新しい動きが芽生えている。近年の世田谷の住民まちづくりは、団体ではなくパーソナルなネットワークを基盤に、それぞれの地域や分野で即興的に活動を生み出す「自律分散」が大きな特徴といえる。従来の住民団体によるまちづくりから、自律分散する住民まちづくりへのシフトによって、地域を構成する多様なステークホルダーの関係性はどのように変化するのか、コモンズの所有、利用、マネジメントがどのように進化するのか、そしてこうした潮流がコミュニティ政策のあり方をどう書き換えていくのか。世田谷のこれまでとこれからをたどりながら、コミュニティ政策の可能性を考えたい。

**開催概要**

- 開催地：東京都世田谷区
- 大会日程：2023年7月1日（土）、2日（日）  
※6月30日（金）にエクスカージョンを予定しています。
- 会場：東京都市大学世田谷キャンパス7号館  
〒158-8557 東京都世田谷区玉堤1-28-1 TEL.03-5707-0104（代表）
- 主催：コミュニティ政策学会

**●大会概要（予定）****7月1日（土曜日）【1日目】**

午前：総会

午後：全体セッション

分科会①

**7月2日（日曜日）【2日目】**

午前：自由論題部会

お昼：ポスターセッション

午後：分科会②

分科会③

詳細は、6月初旬発行予定の NewsletterNo.50 や Web サイトで随時公開していきます。

**【大会開催方法について】**

大会は対面による開催とし、ハイブリッド対応はしない方向で検討中です。

**自由論題報告部会 報告者募集****第 22 回 学会大会「自由論題報告部会」報告者募集**

「自由論題報告部会」では、以下の要領で報告者を募集いたします。会員の皆様がこれまで研究を進めてこられたテーマ、これから本格的な取り組みが期待されるテーマ等につき、報告していただけるのは当学会会員に限ります。非会員の方は、応募と同時に入会申し込みをして会員になっていただくようお願いいたします。

**●報告時間**

20分 報告とは別に、フロアとの質疑応答の時間を設けます。

※報告人数により、報告時間を長めに設定することも可能です。申込時に、研究企画委員会にご相談ください。

**●論題の募集**

Google フォームで、下記をお知らせください。

氏名、所属、連絡先、論題、報告要旨（200字以内）

<https://forms.gle/3yVquYFZqcHh15Ar9>

※Web サイトからお申込みいただけます。

応募締切は 2023 年 4 月 7 日（金）23：59 です。

※論題は 6 月発行（予定）の大会プログラムに掲載します。

要旨は分科会グループ分けの参考にさせていただきます（公表はいたしません）。

### ●原稿の受付

報告者には、要旨とは別に学会当日にオンライン上（Dropbox 等）で配布する資料原稿（またはレジメ）の提出をお願いいたします。分量は、A4 用紙 3 枚程度とします。メールで、下記連絡先に送信してください。フォーマットをご希望の方はお申し出ください。提出方法につきましては、後日、ご連絡いたします。

原稿締切は、2023 年 6 月 30 日（金）です。

※予め、議論のテーマごとに分科会を別けているため、応募時点での議題・要旨から変更があった場合、発表を認めない場合があります。

研究企画委員会：ken-compol@jacp-official.org

## ポスターセッション 報告者募集

第 22 回学会大会（世田谷）では、新しく「ポスターセッション」の場を設けることになりました。以下の要領で報告者を募集いたします。これまでの「自由論題報告部会」に加え、博士論文や研究論文の構想などの意見交換を主とする場、事例報告（大学のゼミ活動などの報告も含む）の場を提供いたします。なおポスターセッションは報告内容について、幅広い交流を目的とするものです。当学会では、初の試みとなるため、下記詳細をご一読の上、わからないことは事務局までお問い合わせください。

### ●発表資格

(1) 筆頭著者がコミュニティ政策学会の会員とします。

※共著者は会員でなくても構いません。

(2) 非会員の場合は、応募と同時に学会への入会申し込みをお願いいたします（入会方法については学会サイトを確認してください）。

(3) 筆頭著者は 1 件のみの応募資格を有し、複数の発表の筆頭にはなれませんが、共著者としての発表に名前を連ねることは可能です。

### ●発表内容

(1) 本学会の趣旨に沿った分野の内容

(2) 会員の自主的な研究活動や実践活動の報告

(3) 卒業論文・修士論文・博士論文の研究成果・構想発表

(4) 所属する大学（院）等でのゼミや実習などでの活動報告

※本学会の趣旨に沿った分野の内容であれば、論文投稿前の途中報告、および研究計画などの個人研究発表にいたらないものを含め、自由な発表を募集いたします。

### ●発表要領

(1) 日 時：2023 年 7 月 2 日（日）※12：00～13：00 を予定しています。

(2) 会 場：7 号館 1 階

(3) 報告時間：ポスターセッションの開催時間は 60 分です。ポスターを掲示し、質疑応答をします。時間中は原則としてポスターの前にいてください。著者が参加せず、ポスターのみを掲示することは原則認められません。

(4) ポスターデザイン：A0 サイズ縦長（タテ 118.9cm×ヨコ 84.1cm）で作成し、通知された登録番号を

タイトル横に記載ください（A1 サイズ横長を縦に2枚配置する等も可とします）。

（5）現地開催の場合でも、ポスター発表ファイル（PDF 形式）を学会大会専用ウェブサイトに掲載する予定です。ファイルの送付方法等につきましては追ってご案内いたします。

（6）COVID-19 の状況によっては、開催方法（対面、オンライン）に変更が生じる場合があります。その際は、あらためて学会ウェブサイト等でご案内します。



※掲載ボードイメージ 大きさ（タテ 120.0cm×ヨコ 90.0cm）マグネット式

### ●募集

Google foam で、下記をお知らせください。

氏名、所属、連絡先、報告タイトル、報告要旨（200 字以内）



<https://forms.gle/DNqtqVdwyuQ3vUGh9>

応募締切は 2023 年 4 月 14 日（金）です。

※報告タイトルは 6 月発行（予定）の大会プログラムに掲載します。

※会場の関係で応募数に上限を設ける可能性があります。その場合、上限に達した段階で募集を締め切りますのでご了承ください。

※予め、議論のテーマごとに分科会を別けているため、応募時点での議題・要旨から変更があった場合、発表を認めない場合があります。

連絡先：コミュニティ政策学会事務局 office@jacp-official.org

## 研究プロジェクトの募集

「コミュニティ政策学会・研究プロジェクト設立の申し合せ事項」に基づき、新規の研究プロジェクトの提案を募集します。

会員の中に存在する多様な研究のシーズを発掘し、学会内においてそれを開花・発展させるべく、公募方式で研究プロジェクトを募集することになっております。多くの応募があることを期待しています。応募のあったプロジェクト案は、研究企画委員会にて吟味した上で、理事会の承認を経て、学会の媒体を用いてプロジェクト・メンバーの募集・広報を実施します。ぜひ、ふるって応募ください。

■応募申請先：研究企画委員長 乾 亨（立命館大学名誉教授）inui@ss.ritsumeai.ac.jp

<参考> 「コミュニティ政策学会・研究プロジェクト設立の申し合せ事項」

1. コミュニティ政策学会は、コミュニティに関する理論と政策の研究の発展をはかるため、会員からの提案に基づき研究プロジェクトを研究企画委員会のもとに設立する。

2. 研究プロジェクトを提案する会員は、①責任者の氏名、所属、連絡先、②研究の趣旨、③共同研究の進め方、④研究実施の期間、を示すプロポーザルを研究企画委員会へと提出する。実施される研究プロジェクトは、学会会員からの参加を募るものでなくてはならない。

研究実施の期間は、2年～4年の間としなければならない。ただし、実施期間内に学会大会で研究成果の中間報告を行うことを条件に実施期間を延長することもできる。

3. プロポーザルの内容は、研究企画委員会が吟味した上で、理事会にて会員への参加公募を認めるプロジェクトを承認する。会員への研究プロジェクトへの参加公募は、Newsletter、メルマガ、学会HP等を通じてなされる。

4. 参加者の公募期間の後、研究プロジェクトの提案責任者は、研究プロジェクトへの参加メンバーを研究企画委員会に伝える。研究企画委員会は、①研究プロジェクトが複数の会員から構成されていること、②プロジェクトの参加者の過半がコミュニティ政策学会会員であることを確認し、研究プロジェクトの発足を正式に承認する。

5. 研究プロジェクトは、研究実施期間内に学会大会ないしシンポジウムにてその研究成果を発表し、その内容を学会誌にも掲載する。またプロジェクトの進捗状況は、理事会開催時に先立ち研究企画委員会に伝えるようにし、理事会に進捗状況が伝わるように努める。

6. 正式に発足した研究プロジェクトに対しては、毎年度、5万円を上限に活動費を学会会計より支給する。

## 理事会報告

コミュニティ政策学会 第47回 理事会 記録

2022.12.18

伊藤雅春

日時：2022年12月18日（日） 11時00分～13時00分

場所：zoom 会議

出席者：名和田、乾、宗野、伊藤、井出、大内、佐藤、嶋田、杉崎、直田、田中逸郎、田中義岳、谷、玉野、辻上、土屋、手島、林、深川、三浦、森、

### 【審議事項】

0) 前回理事会・総会の記録の確認

⇒事前に送った前回理事会の議事録について確認

1) 世田谷大会の概要について

・杉崎世田谷大会実行委員より進捗状況と協議事項について説明

⇒世田谷大会は対面のみに対応としオンラインの併用はしないこととしたい。

⇒ハイフレックスの場合それなりの体制を取るには費用もかかるので対面のみにすることを提案。⇒承認

⇒大会用冊子の編集方法と印刷物の作製について協議して頂きたい。

⇒申請段階程度の要旨をまとめた印刷物は大会プログラムと合わせて直前のニュースレターの内容を編集して事務局で作製する。それ以上の資料については電子化して事前にアップロードする。それ以外に配付したい資料があれば発表者が印刷して持参することとする。

⇒会場のWiFiの使用については大学に確認する必要がある。

⇒発表要旨の提出についてはフォーマットを提示した方が良い。

⇒世田谷大会以降の情報提供の方法については大会実行委員会の判断に任せる。

- ・ニュースレターの電子化についても検討の必要があるが今後の課題とする。

- ・大会実行委員会と研究企画委員会の役割分担について確認

⇒自由論題分科会の準備運営については基本的には研究委員会で行うが、ポスターセッションについては、大会実行委員会で行う。

## 2)シンポジウムの進捗状況について

- ・三浦理事よりシンポジウムの企画内容の主旨と日程について提案

⇒テーマ：「子ども会と地域コミュニティの関係を考える(仮)」

日程：2023年2月19日(日)

午後(14時～16時半など今後調整、全体で2.5時間程度を想定)

参加形式：Zoomによりリアルタイムオンラインでの参加形式とする。

⇒会員、会員外の参加も無料とする。

メインタイトルをコミュニティ政策学会シンポジウムとする。

シンポジウム記録は録音し事務局でテキストにおこす予定。

⇒2022年2月に開催したシンポジウム記録についてはブックレットとすることについて理事会に提案されている。

⇒ブックレットの企画については東信堂との協議が進んでいないので今後検討を進めたい。

⇒広報スケジュールについては、年内にメールマガジンリスト、ホームページに掲載する予定。

ニュースレターを間に合えば2月上旬に発行してシンポジウムの広報を掲載したい。

## 3)2024年度大会開催地について

- ・2024年度大会の開催地について全員で協議

⇒特に候補が挙がらなかったため今後事務局で検討することとする。

## 4)各委員会報告

- ・乾研究企画委員長より報告

⇒学会シンポのテーマについて公募することを提案。4月以降に各支部に投げかけ7月頃に検討するというルールを作りたい。応募しやすいようにハードルは低く設定したい。次回のシンポジウムの際に公募方法をオープンにしていきたい。

⇒公募の件については研究企画委員会で進めることとする。

⇒支部活動の中から研究プロジェクトを活発化することを目的に予算の増額を提案したい。現状5万円を20万円にアップすることを提案。

⇒助成金の増額を提案してはみたもののそれに伴う審査手続き、会計処理などの事務作業を考えるとどの程度の増額が妥当か検討が必要かもしれない。研究委員会としては研究プロジェクトに対する意思を示すことが重要と考えるので詳細については別途検討の場を設けたい。

⇒検討の進め方について事務局に引き取らせてもらいたい。

- ・宗野編集委員長より報告

⇒第21号の企画内容と特集論文の方針について説明

⇒22号以降の特集についても企画を立てるのに苦労している。研究企画委員会から提案のあったシンポジウムテーマの公募に突破口があることを期待したい。

- ・伊藤事務局長より報告

⇒「あしたの日本を創る協会」から依頼のあった会員名簿の提供依頼について検討して頂きたい。この協会は現在団体会員である。過去の理事会での会員名簿に関する協議内容を確認。

⇒会員の氏名、所属、専門分野、メールアドレスについて公開することをメルマガを通じて確認し、ホームページ上で公開する。「あしたの日本を創る協会」には利用目的を課し年度内に会員に対して名簿を共有する旨を伝えることとする。

## 5)各研究支部報告

- ・手島理事より中国研究支部の報告

⇒移動フォーラムを2日間にわたり対面とオンライン参加を半々の参加者で実施することができた。交

流会についても実施することができてよかった。

・世田谷大会自由論題部会開催のための事務手続きの引き継ぎについてスケジュール確認  
⇒林理事より谷理事に資料を送りその後メールでやり取りの上 zoom で最終確認を行う。

6)その他について

・名和田叢書刊行委員長よりコミュニティ政策学会叢書刊行の確認

⇒乾副会長の『神戸市真野地区に学ぶこれからの「地域自治」』を次回の叢書として刊行する予定。

以上

## 事務局からのお知らせ

1. 2022 年度の会費請求は会員管理システムを通じて行っています。個人会員は年額 8,000 円（ただし学生会員は年額 5,000 円）、団体会員は年額 30,000 円です。なお、本年度はシステム運用初年度のため、請求書払いをご希望の場合は事務局までお知らせください。
2. 会員管理システムへのログインページは、<https://jacp.smoosy.atlas.jp/mypage/login> です。会員番号もしくは登録のアドレスと、パスワードを入力してください。会員管理システム上で、下記を確認・変更することができます。
  - ・請求書の発行（入金後は発行できません）
  - ・請求明細の確認（入金後に確認可）
  - ・領収書の発行
  - ・会員情報の確認と変更
3. 会員管理システムやその他お問い合わせは事務局にお願いいたします。連絡先は下記の通りです。

### コミュニティ政策学会 Newsletter No.49

〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1 法政大学法学部気付

TEL 03-3264-9441

E-mail [office@jacp-official.org](mailto:office@jacp-official.org) <https://jacp-official.org/>

発行日 2023 年 3 月 7 日 編集 事務局 伊藤、杉崎、林、土屋